

山北町水道事業基本計画(平成28年度改訂) 概要版

§ 1. 基本計画改訂の目的

現在、山北町の水道事業は1つの上水道事業と8つの簡易水道事業で水道水の供給を行っています。本町の水道施設は山間に点在しており、給水の規模に対して施設数が多い状態にあります。

本町ではこれまでに、限られた人員、事業費の中で水道施設や管路、機械設備の更新・改修に取り組んできました。しかし、今後、高度経済成長期に大量に整備された施設や管路が続々更新時期を迎えていき、施設等の老朽化が急激に進む見込みです。

そこで、今後も安定した水道事業を継続していくために、将来的な施設更新を見据えた上で、実現可能な更新計画をとりまとめ、山北町水道事業基本計画を改訂しました。

山北町水道事業基本計画(平成28年度改訂)

計画期間：平成29(2017)年度～平成43(2031)年度 15年間

§ 2. 水道事業の現状と課題

(1) 給水人口・給水量

給水人口は減少傾向にあり、今後もこの傾向は続いていくと見られます。一方、給水量は概ね横ばいで推移しており、今後、工業団地の企業誘致や定住対策等により微増する見込みがあります。

(2) 施設・管路・設備

配水池や管理棟などの施設は、早急に更新が必要なほど老朽化が進んでいるものはありませんが、経年劣化が部分的に見られるものもあります。また、施設の中には更新が困難な場所に築造されているものもあり、更新方法を検討する必要があります。

管路については、一部が既に更新時期を迎えています。今後は更新時期を迎えた管路が加速度的に増加していく見込みです。

ポンプや計装機器などの設備は、耐用年数を超過して使用しているものが多くありますが、点検や修繕を定期的実施し、運用上問題の無い状態を維持しています。

§ 3. 主な事業計画

今後 15 年間で、以下のような事業を進めていきます。

(1) 老朽施設の更新

劣化が進んでいる配水池などの主要な施設については、将来的な水需要を見据えて、計画的に適切な規模の施設に更新を行っていきます。

(2) 施設の耐震化

施設については耐震診断を行っています。診断の結果を受け、必要に応じて、耐震補強工事を行います。

(3) 老朽管の更新

既に更新時期を迎えている管路や耐震性が弱い管路について、重要な管路から順に更新を行っていきます。

また、約 20 年後には管路全体の内の 2 割が一斉に更新時期を迎えることを見据えて、一部の管路を更新時期を前倒しにして更新していきます。

(4) 老朽設備の更新

点検や修繕により耐用年数を超えて使用している設備の中には、修繕に必要な部品が既に製造されていないものもあります。

これらの更新を先送りにしてきた設備についても、設備の重要性や老朽度に応じて、計画的に更新を行っていきます。

§ 4. 将来に向けた検討

将来的に課題となる以下の事項について検討を行いました。これらの実施に向けて、今後は更なる具体的な検討を行っていきます。

- 浄水方法の変更を踏まえた既設浄水場の更新
- 施設の統廃合を含めた簡易水道の統合
- 小規模な簡易水道の今後の運営方法